PASSWORD MANAGER › VAULT BASICS

カスタムフィールド

ヘルプセンターで表示:
https://bitwarden.com/help/custom-fields/

カスタムフィールド

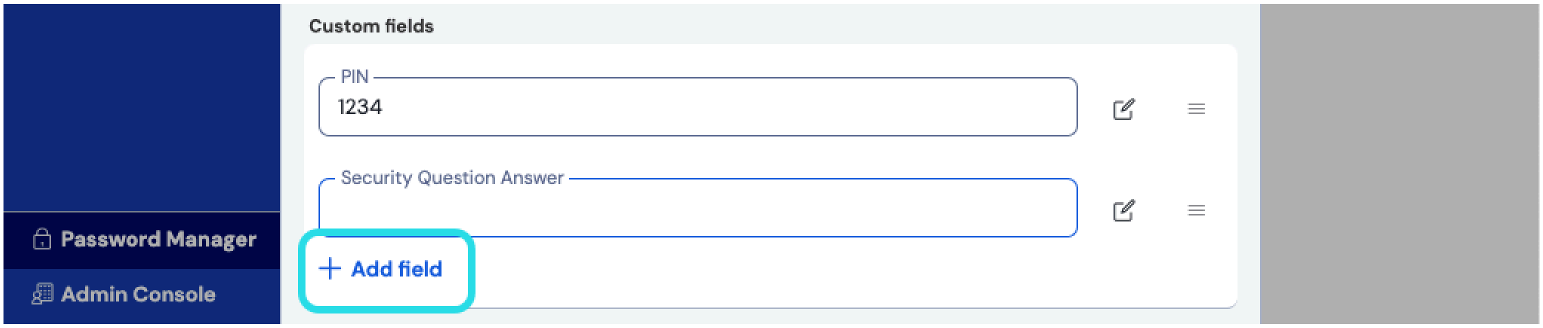
カスタム フィールドは、どのデータ保管室アイテム タイプでも利用可能で、データ保管室アイテムに構造化されたデータフィールドを追加で保存することができます。カスタムフィールドはName:Valueのペアとして保存され、4つのタイプのいずれかになります：

- **テキスト**：フィールド値には自由形式の入力（テキスト、数値など）が格納されます。
- **非表示**：フィールド値には、表示されない自由形式の入力が格納されます（特に、「パスワードを隠す」アクセス制御を使用している組織に便利です）。
- **ブール値**：フィールド値はブール値（真偽値）を格納する。
- **リンクされている**：フィールド値はアイテムのユーザー名またはパスワードにリンクされています。適切なフィールド名があれば、リンクされたカスタムフィールドを使用して、ブラウザ拡張機能で特定のサイトのユーザー名とパスワードを自動入力できない問題を解決できます（詳細）。

> Tip
>
> **キーのカスタムフィールド**
>
> PINやセキュリティ質問のような一般的なウェブサービス入力に加え、カスタムフィールドを使用して、例えばRSA 4096ビットのSSHキーのような長さ5000文字までの値を格納することができる。
>
> カスタムフィールド値の文字数制限は、**暗号化後の文字数に**課されます。例えば、3383文字のRSA-4096 SSH秘密鍵は、暗号化されてVaultに保存されると約4400文字になります。

カスタムフィールドの作成

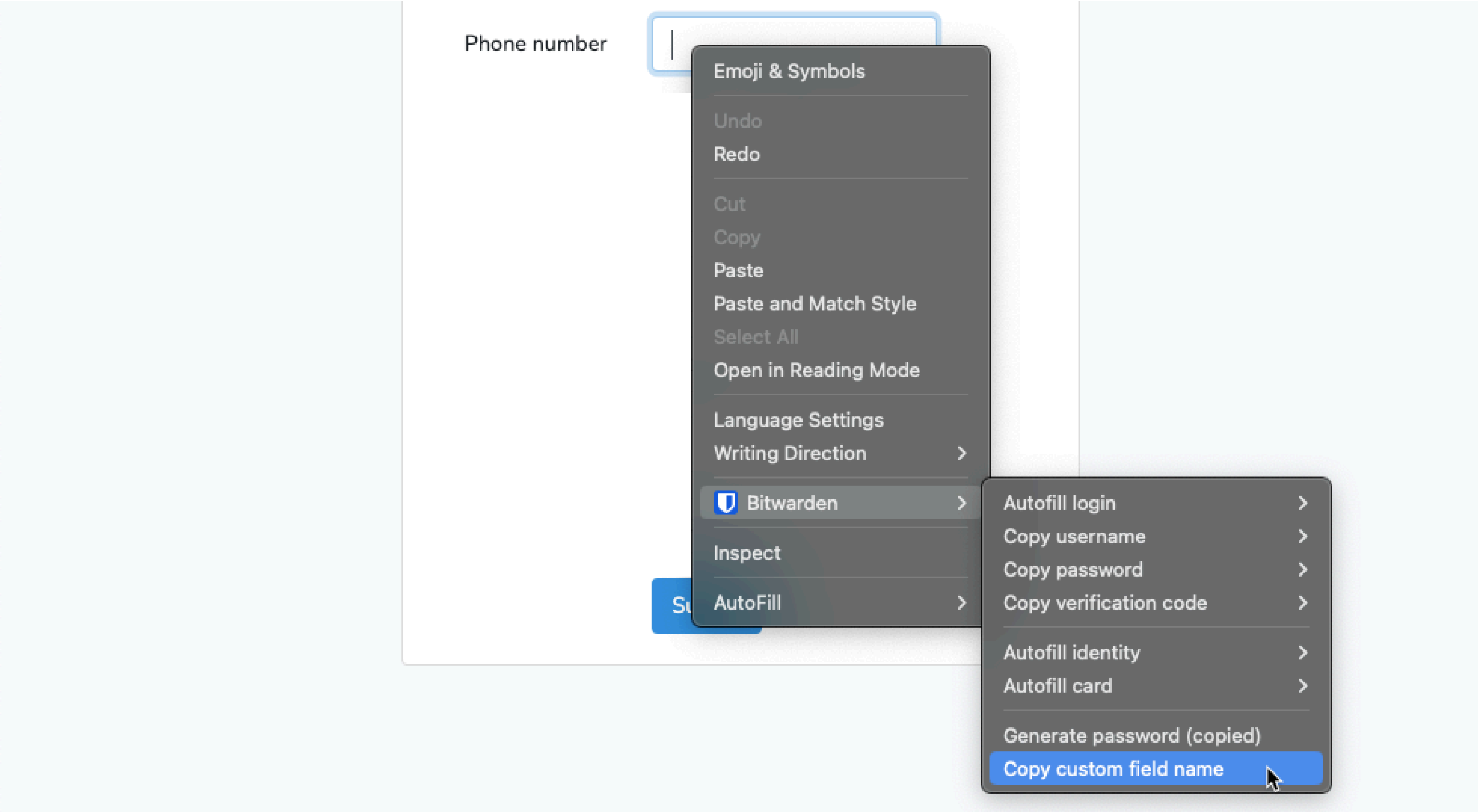
カスタムフィールドは、どの Bitwarden クライアントからでも、**Edit Item（アイテムの編集）**パネルの**Custom Fields（カスタムフィールド）**セクションを使用して、保管庫アイテムに追加することができます：



Web Vaultのカスタムフィールド

カスタムフィールド名

カスタムフィールドのオートフィルを成功させるためには、指定されたNameを正しく設定することが重要です。Bitwarden ブラウザ拡張機能を使用すると、コンテキストメニューの**カスタムフィールド名のコピー**オプションを使用して（ほとんどの場合、フォーム要素を右クリックして）、正しいフィールド名をすばやく取得できます：



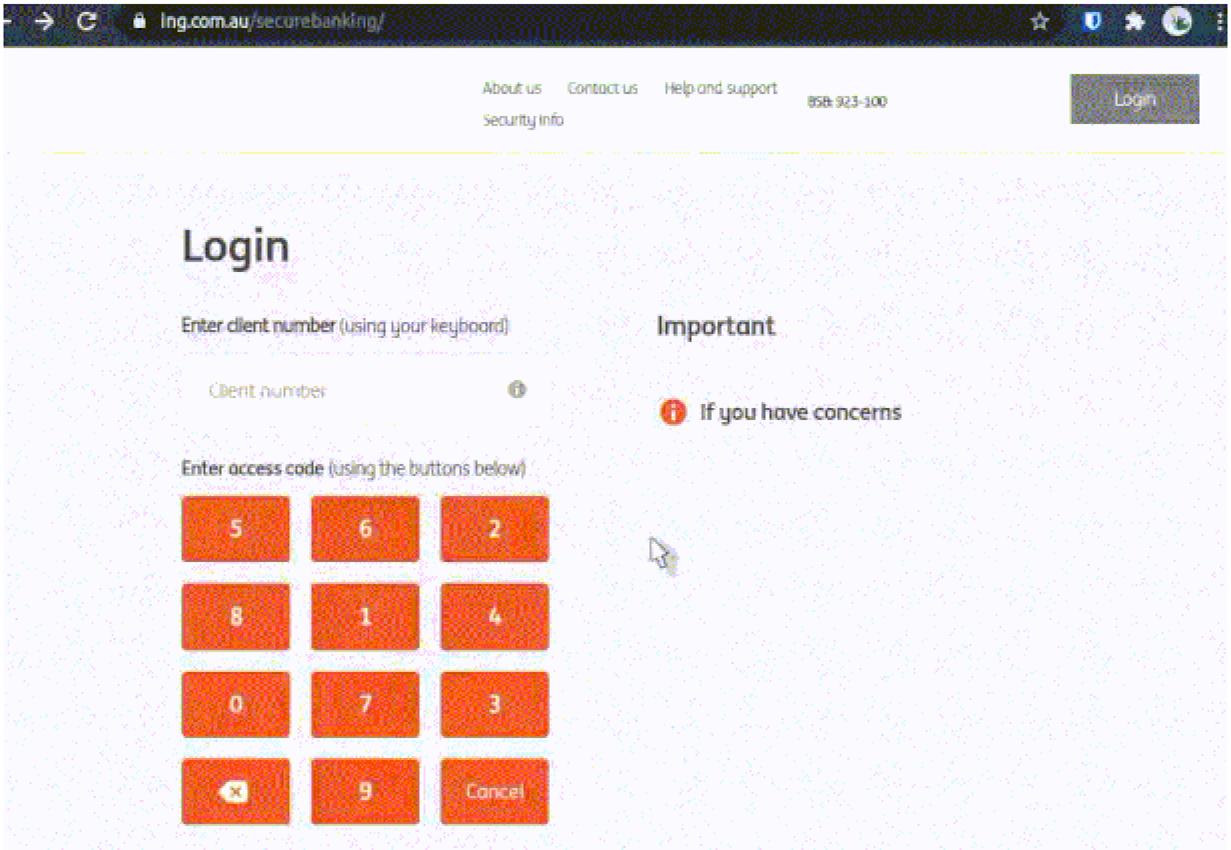
カスタムフィールド名のコピー

このコンテキストメニューオプションを選択すると、フォーム要素の`id`、`name`、`aria-label`、`placeholder`の値（優先順）がコピーされます。

カスタムフィールドを保存したら、ブラウザの拡張機能から自動入力することができます。

カスタムフィールド名を手動で検索する

ブラウザの拡張機能を使用しない場合、フィールド名を見つける最良の方法は、以下の例のように、ウェブブラウザの開発者ツールを使用することです：

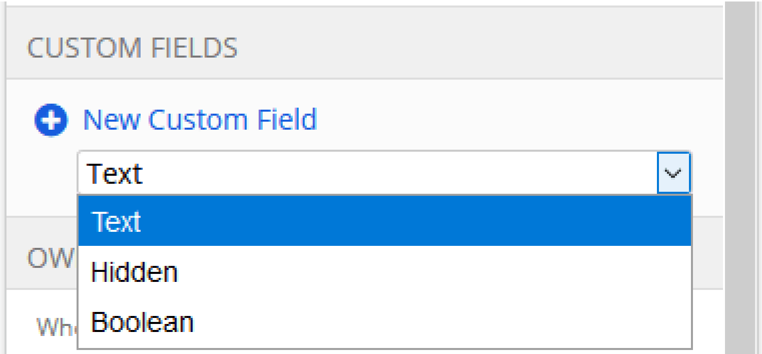


カスタムフィールド — カスタムフィールドの追加方法

1. ログイン項目のURIに一致するウェブページで、オートフィルしたいフィールドを右クリックし、**「検査」を**選択します。HTML要素が開き、開発者コンソールでハイライトされます。

2. 要素の`idを見つけて`コピーする（id="xxx "を見つける、 `xxxは`要素の`id`値）。

3. 関連する保管庫アイテムの**カスタム フィールド**セクションで、適切なフィールド タイプを選択し、＋[**新規カスタム フィールド**] ボタンを選択します：



カスタムフィールドの種類を選択する

4. コピーした要素`IDを` **Name**フィールドに貼り付けます。

5. 自動入力される情報（上記の例ではPIN）を**「値」**フィールドに指定します。

カスタムフィールドの例

6. 保管庫の項目を保存します。

カスタムフィールドを保存したら、ブラウザの拡張機能から自動入力することができます。

カスタムフィールド名の詳細

優先順位

カスタム・フィールドに手動で名前を付ける場合は、以下のHTMLフォーム要素の属性/値のいずれかを**優先**的に使用する必要があります：

1. HTML フォーム要素の`id`属性。
2. HTMLフォーム要素の`name`属性。
3. HTMLフォーム要素の`aria-label`属性。
4. HTMLフォーム要素の`placeholder`属性。

マッチング

フィールド名のマッチングは、**大文字と小文字を区別しない 正確な**比較です。例えば、カスタムフィールドに`PIN`という名前がある場合：

- **ピン**、`PiN`、`PIN`などのオートフィルを提供。
- **pin2**または`mypin`にはオートフィルは提供されません。

接頭辞

接頭辞を使うことで、マッチングをよりコントロールできるケースが2つあります：

- **csv**：csv= `pin,mypin,pincode`のように、カスタムフィールド名の前に`csv=`を付けることで、オートフィルで検索・比較する複数の名前を指定することができます。
- **regex**：regex:カスタムフィールド名の前に`regex=`を付けると、オートフィル時に正規表現による比較を行うことができます。例えば、`regex=^first.*name`を指定すると、`firstName`、`First_name`、`First Name`が自動入力されます。